

世界を変えようとする女性たち

ビルマ、女性に対する暴力への挑戦

女性

軍事政権下の人权侵害 日本は女性への支援続けて

軍事政権が続くビルマでは、軍による女性への性暴力、強制労働、投獄などの人権侵害が後を絶たないという。ビルマの女性活動家を中心、「ビルマ・女性に対する暴力への挑戦」と題するシンポジウムが都内で開かれた。主催はヒューマンライツ・ナウ。(西山由美)

ビルマは1962年から軍事政権が続き、今なお軍は軍事費に充てられ、教育や医療、福祉にはほとんど予算がまわらないのが現状だ。しかも軍は、多くの人びとに強制労働や、ビルマ軍のボーダー(部隊に同行し、数十kgの荷物を運ぶ)を強いたり、強制移住、財産の没収、不法逮捕、女性に対して性暴力をふるうなどの人権侵害を続いている。このため多くの

人は合計500以上もの大隊がある。GDPの4割以上は軍事費に充てられ、教育や医療、福祉にはほとんど予算がまわらないのが現状だ。しかも軍は、多くの人びとに強制労働や、ビルマ軍のボーダー(部隊に同行し、数十kgの荷物を運ぶ)を強いたり、強制移住、財産の没収、不法逮捕、女性に対して性暴力をふるうなどの人権侵害を続いている。このため多くの



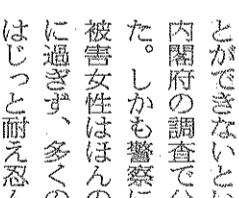
ティンティンアウンさん



ミヤラザーリンさん



渡邊彰悟さん



雪田樹理さん

関与否定する政府

性団体を、ビルマの国境沿いで次々に立ち上げた。しかしビルマ政府は、自分たちは一切関与していないと否定したのです」

同じく来日したミヤラザーリンさんは、国外に逃げられた民衆の組織を認めないビルマでは、画期的な出来事だったという。

「アウンサンスーチーさんも活動を封じられ、自宅軟禁の状態がずっと続いています。2007年の民主化を訴える反政府デモで、逃れることもできず、怯えながら生活している人がまだいほう

り」と語る。

「アウンサンスーチーさ

んも活動を封じられ、自宅

軟禁の状態がずっと続いて

います。2007年の民主化を訴える反政府デモで、逃れることもできず、怯えながら生活している人がまだいほう

り」と語る。

「アウンサンスーチーさんも活動を封じられ、自宅

軟禁の状態がずっと続いて

います。2007年の民主化を訴える反政府デモで、逃れることもできず、怯えながら生活している人がまだ